

北海道稲門教育会会報

2017
1.11
発行

「新年を迎えて」

北海道稲門教育会会長

小島 晶夫（札幌西高等学校長）



北海道稲門教育会の皆様、明けましておめでとうございます。

平成二八年七月より、前川洋前会長の後を引き継ぎ、北海道稲門教育会の会長を務めることになりました昭和五六年教育学部理学科生物学専修卒の小島です。現在は、北海道札幌西高等学校の校長をしております。どうぞよろしくお願いたします。

さて、本会は、教育に情熱を傾ける校友ですが、胸襟を開いて語り合う場を設けようと昭和五〇年代に組織されたのが始まりです。現在の主な活動は、年に二回（一月の高教研の初日

と七月下旬の夏季休業中）の研修会や懇親会の開催です。

その研修会ですが、平成二八年度の夏期研修会は、昨年の七月三十日、早稲田大学入学センター副センター長・文学部教授の沖清豪先生を講師にお招きして開催されました。沖先生からは、道内高校出身の学生の動向や、先生が深く関わっていらっしゃる高大接続システム改革会議での審議の内容などについてお話をいただきました。

特に北海道の高校出身の学生については、今年度の入学者数は一一六名（指定校推薦での入学者が三五名、それ以外のAOを含む入学者が八一名）であったこと。一方で卒業生は、一年のデータですが、保証人が北海道在住の学生は一四〇名で、うち北海道に就職した者は一三名（九％）にとどまっていたことなどが紹介されました。また、就職者のうち教員として採用された者は大学全体では2％でしたが、北海道出身の学生に絞るとわずか1％という状況だったそうです。つまり一人しか採用されていないということなのです。

ここで少し話を変えますが、現在、本会の大

きな悩みは、名簿上の会員は一〇〇名を超えているにも関わらず、研修会や懇親会の参加者が減少していることです。本会所属の会員の退職に伴う会員数の減少が原因の一つですが、早稲田を卒業して北海道の教員となる若者がほとんどいないことも大きな原因と考えております。早稲田としても、一都三県以外の高校出身の受験生には入学前予約給付型奨学金を用意するなど、地方の優秀な生徒がほしいという気持ちを強く持っているようです。ですから、まずは教育に関わる私達の力で、学力の向上はもとより、道外でチャレンジしたい考える生徒を育てようではありませんか。このことが、将来必ずや都の西北を目指す生徒を増やすことにつながり、さらには、校友の北海道での教員採用につながると確信しております。普段は互いに協働することの少ない本会ではありませんが、これからは「進取の精神を持つ生徒」の育成に向けて会員の心をつにし、母校そして北海道教育のために力を合わせていきたいものです。

結びに、教員をはじめ、管理職や教育行政、教育関係企業で、本会の会員が一層活躍し、先輩方が築いてこられた北海道稲門教育会がますます発展することを願い、年頭の挨拶とします。

「先行き不透明な時代に」

北海道恵庭南高等学校長

森 浩 之



早稲田を卒業して30年以上になりますが、昨年11月全国校長会に参加した折に、校友会があり、久しぶりに大学校内に入りました。大隈タワーや新しい高層ビルの校舎が建ち並び、薨の校舎の風景とは違ったものになっており、時代の流れを感じたところです。されど、大隈講堂をはじめ、正門周辺の雰囲気は健在であり、心のふるさとの母校を感じさせ、若い時代の元気な自分を思い起こさせてくれました。

さて、国においては、教育再生実行会議の提言等を受け、今後、様々な教育改革が進められていくことと思えます。その背景として、これからの社会は、情報化とグローバル化が急速に進展することを想定しており、その一例として、AI（人工知能）が囲碁のプロ棋士に勝ったことが上げられていました。

私は、囲碁を少々嗜むので、このことに深い

興味があるのですが、2016年3月に、グーグルが開発したアルファ碁というソフトが、世界トップ棋士である韓国のイ・セドル氏に4勝1敗で勝利し、世界中に衝撃を与えたというものです。チェスでは、1996年、コンピュータが初めて世界チャンピオンに勝利を収めています。また、将棋では2011年から2013年ごろ、コンピュータがプロ棋士を破るといふ例が起こっており、現在ではコンピュータと人間は一進一退の状況が続いているようです。

これに対し、囲碁は、ゲームの目的がチェスや将棋のように相手の王を取るという明確なものではなく、最終的な勝利は陣地を多く囲った方が勝ちとなりますが、ゲームの過程の中では、「石の戦い」、「石の生き死に」、「実利と厚み」などという分かりにくい要素があり、一〇年ほど前まではコンピュータの実力は段には届かず、強いソフトを作るのは難しいとされてきました。それが、数年前にモンテカルロ法を使ったソフトが飛躍的な進歩を見せ、アマ5段くらいの実力になりました。私は、そのZenというソフトを持っていますが、私がコンピュータに石子を置いて対局しています。それが、2016年には、ディープラーニングの手法を使ったアルファ碁の出現により、囲碁の世界でもプロ棋士とコンピュータが同等の実力になったのです。

このように、AI（人工知能）は、人間の知能を凌駕するようになることが予想され、将来は人間の職業が激減するのではと言う懸念さえ耳にします。今日の情報化の著しい進展は、社会をどのように変えていくのか、先行き不透明な時代としか言いようがありません。そのような中で教育の役割は何なのか、いろいろと論じられてはおりますが、私自身は不易なものをしっかりと教えることかなとは思いつつも、以前に増して分からなくなっているように感じています。

「北方領土の返還を求めて」

国後島元島民 大塚 誠之助



私の故郷、国後島泊湾地域は、国後島の南部で十八世紀の末より日本人の往来が盛んで、あの有名な高田屋嘉兵衛もこの地で活躍し、彼が創建した村外れの神社には、天保六年（一八三五）に建てられた花崗岩造りの立派な鳥居が残されており、その頃すでにかなりの日本人が居

住していた証となっておりました。

私の島での生活は十歳までです。私の生まれ育ったウエナイは、泊村本村から二km程東寄りの集落で、戸数は七十戸余りあり、約四百人の人々が生活していましたが、村民のほとんどが漁業に従事し、主にたらば蟹、ホタテ貝、北海しまえびと寒天の原料となる伊谷草の採取で生計を立てていました。島での生活では、十二月から三月にかけて、湾内の結氷と流水で、根室港との船便が閉ざされ、照明も年間を通して灯油ランプという不便なものでしたが、都会での生活を知らない子供たちにとっては正に楽園でした。春先の流水乗り、小川を遡上する鮭・鱒や遠浅の海でかれいを手製のヤスで仕留めるなど、四季を通して自然の恵みが絶えることがなかったのです。

しかし、一九四五年九月の初め、泊湾地域にもソ連軍が侵入して来ました。ウエナイでは、ソ連兵に対する恐怖感はあまりなかったのですが、やはりソ連兵の本格的駐留に不安を抱き、村人たちは次々に島を離れました。私の家族も九月八日頃、近所の漁師さんの船で着のみ着のままで暗闇の中、島を脱出し、風蓮湖の走古丹での生活を始めたのですが、何せ生活の基盤を全く失っているのですから、私の両親の苦労は大変なものでした。なお、このような苦難は、元島民が味わった共通のものでした。

私が北方領土の返還要求運動にのめり込んだのは、元島民であるというだけではありませんでした。そのきっかけは、私が学生時代、早大の助教授で図書館の副館長をされていた恩師洞富雄先生（一九〇六―二〇〇〇年）の北方領土に関する特別記念講演を拝聴してからだと思えます。洞教授は、樺太探検で有名な間宮林蔵の研究者として著名で、北方領土問題についても造詣の深い先生でした。

私は、現在北方領土関係の二つの公益社団法人の理事や幹事を務めているのですが、最近、洞先生の著書「北方領土の歴史と将来」（昭和四十八年発行）を読み返す機会があり、改めて北方領土が日本固有の領土であり、歴史的事実と国際法からして、日本が放棄する理由が全くないとの確信を深めております。

私は、プーチン大統領の来日を控えて、道が十二月一日に主催した札幌での街頭啓発活動に参加した後、北海道新聞の取材を受けているのですが、翌日の朝刊に次のような私のコメントが載せられていました。「今回の会談で四島の返還問題が一気に解決するとは考えていないが、前向きの結果が得られれば・・・」と話した。このように私を含めて元島民や関係者の期待が大きかったことは確かです。しかし、残念ながら領土問題は全く進展せず置き去りにされました。自民党の二階幹事長の札幌講演で

の発言を借りれば、「もつとましかと思つた」との一言こそ多くの国民の率直な受け止め方ではないでしょうか。

北方領土返還の実現は決して元島民や北方領土に隣接する地域住民だけに関わる問題ではなく、わが国の主権と国益に関わる問題です。プーチン大統領の外交手段はしたたかであり、ロシア側の譲歩を引き出すためには、日露双方にとってメリットになる経済協力だけでなく、これまで以上に日本国内の世論をバックにした粘り強い外交交渉が必要です。

末筆になりましたが、稲門教育会の皆様、特に現役の先生方の若い世代への影響力は絶大です。皆様には、北方領土返還要求運動に対して、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

「オンラインワンの学校」

北海道札幌白石高校 池上 暁



道内に様々異彩を放つ高校はあまたありますが、つくづく私の勤務する札幌白石高校は、

そんな学校の一つなのかなあと実感した1年でした。白石高校といえ、中学生的な見方からすると、倍率は結構あるが、裁量問題を実施していない、頑張れば手がとどく、それでいて部活や行事は楽しいらしい。卒業後の進路先も、それほど欲張りでない自分にとっては、道内私立大学に行ければ、それほど不満はない。そしてめでたく入学。もちろん入学したての頃は、先生の指導に従って、第一希望は国公立大学です。と胸を張るが、次第に現実に向き合いながら、自分自身に妥協的な自分が、「今大事なことはなんだよ！今しかできないことに打ち込むのがやっぱ青春だよ」後先考えずに部活に打ち込み、利害関係のない友情のためにコミュニケーションツールを駆使してスマホの画面に思いを打ち込む。時にはほろ苦い恋の思い出もスマホのアルバムにぎゅっしり詰め込み、やっぱこれが高校時代だよ、って。誤解を避けるために言っておかなければならないが、進学へ向けてのトレンドである、講習、特進クラス、全員模試、〇テック、英検を奨励しながら、多くの先生たちは、生徒の進路実現のために全力で取り組んでいることは言うまでもない。ここまでは、よくある学校じゃないか、と言われても仕方がないが、漫画で「青空エール」という作品をご存知だろうか？舞台は白石高校、なんとこの漫画が映画化されたの

だ。ストーリーは甲子園出場を目指す野球部員（竹内涼真）とその夢を応援する吹奏楽部員（土屋太鳳）とのスポーツと音楽と友情と恋の物語なのだ。吹奏楽部の顧問は上野樹里が演じている。（私はまだ見に行けてないのだが）今年度の学校祭では、サプライズで竹内涼真が学校祭のステージに登場したのだ。朝の連ドラ「まれ」に主演して皆さんにお馴染みの土屋太鳳も来ることになっていたのだが、直前にドタキャンされてしまった（残念）。場内騒然として大変なことになってしまった。もちろんその様子はテレビでもオンエアされた。映画の中では、白石高校の音楽室が再現されているようで、モデル校としてよく研究され映画作成にも反映されているようだ。機会があったら、ぜひ鑑賞していただきたいと思います。また一方、日曜の朝にオンエアされている「仮面ライダーエグゼイド」をご存知だろうか？主役の男の子はジュノンボーイでグランプリをとった私の教え子が演じている。日曜日の朝が待ちどろしい今日この頃である。そういえば、先述の竹内涼真も仮面ライダーでした。もう一つ今年の重要な出来事の一つは、コンサドール札幌のJ1昇格だが、昇格を決めた試合に僕の教え子が二人出場していた。特にそのうちの一人は現在早稲田のスポーツ選手向けの通信教育を受講している、つまり早大生なのだ。そんなこんなで、

本当に今年度は、忘れられない特別な1年になりました。私自身、白石高校で生徒たちに意義ある教育活動ができていくか心もとないが、素晴らしい生徒たちに囲まれて仕事ができていくということは間違いない。感謝しかありません。またどんな生徒にも何らかの可能性が秘めているということを実感させてくれた1年でした。まあ、自分の教育活動の結果とは、さほど関係ないというところは微妙な点でもありますが、それでも、こんな白石高校は、ある意味では「オンリーワンの学校」と言ってしまうべくもないと感じる今日この頃です。

近況報告（返信葉書より・敬称略）

足利 啓朗

退職して数年がたちますが、時の速さは、在職時と変わらない印象です。ご盛会を祈念申し上げます。

阿部 穂

残念ながら欠席させて頂きます。10年振りの学校現場復帰で張り切っていますが、課題は多いです。早稲田魂でがんばります！

阿部 大洋

幹事ご苦労様です。毎年欠席で申し訳ありません。

荒井 到

なかなか総会に出席できず申し訳ごあいませ
ん（また出欠葉書を出しそびれてしまいました
た。！）1年のご多幸と年賀状番号の当選をお
祈り致します。

荒谷 直史

遠軽から室蘭へ異動して2年目となり、学校
にも街にもだいぶ馴染んできました。今回は部
活の引率の関係で出席することができず、非常
に残念です。来年こそは出席して近況を直接お
知らせできればと考えています。

伊藤 芳明

明けましておめでとうございます。科学大学
にて3年々が過ぎようとしています。英語教育
に携わることができて幸せです。盛会をご祈念
申し上げます。

今田 勇次

授業で、色々な角度から説明し、「あつわか
った」という顔を見るのは、結構嬉しいことだ
した。ただ、生徒に納得させるためには、かな
りの体力が必要で、こちらの説明と、生徒の理
解が合致し、共鳴感を得るのが喜びの一つでし
た。体力が年々衰えていくのが自覚される昨
今、良い思い出を楽しみのひとつにしたいと思
っています。

岩田 一郎

了氏、（名古屋大学名誉教授）が、本校の講
演後早稲田で教授向けの講演（国際教養学部）
があると釧路を離れました。きつと新しい
記念講堂等をご覧になることができることで
しようと、教授にお話をしたところ、とても楽
しみにされていました。

今年もよろしくお願いいたします。

大久保 克洋

元気なうちにと歩き回り遊びまくっております。
ご盛会をお祈りいたします。

大場 宏

盛会と会員皆様の益々の御発展・御健勝を心
からお祈り申し上げます。

大東 俊郎（9代会長）

山里に住みながら、夏にはウッドデッキで朝
食を楽しみ、冬の夜は薪を燃やしながら、読み
たい本を読み耽ったりしながら、人生の余命を
なんとかおくらせています。

岡元 賢（14代会長）

学生募集推進業務、いまま少し続きそうです

加藤 剛

交友の皆さんご多幸をお祈り申し上げてお
ります。

吉瀬 献策

縁あつてか、24年振りに初任勤務校に赴任
となりました。学校発展のために尽力します。

栄 國義（初代会長）

97歳になりました。ご盛会を祈っていま
す。

佐藤 佳明

好みのボランティアや趣味の世界に入り込
んでおります。そろそろボケも始まってきたよ
うで教員の世界とも順次縁を切って参りまし
た。つきましては札幌へ向かうことも無く、御
会の会員も削除ください。皆様によろしく。

篠崎 雅之

昨年は、日ハム戦を見に札幌へ3回も足を運
びました。そして、感動の日本シリーズを3戦
とも見ました。絶叫と興奮、一生の思い出とな
りました。8月には38年ぶりに母校を訪ね、
その時の写真は今、携帯の待ち受けに使って
います。残念ながら小遣いを使い果たし今年も参
加できません。皆様のご多幸をお祈りいたしま
す。

柴田 英昭

今年度より札幌丘珠高校勤務となりました。
1月11日は、剣道全道新人戦で、祝勝会の予
定を入れてしまっていたので残念ながら欠席
させていただきます。申し訳ございません。

武部 文吉

ゴルフができる程度の体力を維持するよう努めています。

竹本 義明

自称、万年青年も高齢にはかなわず、体調が思わしくありませんので大事を取ります。北海道稲門教育会が益々盛大に大活躍のご様子、誠にうれしく存じます。どうぞご参加の交友の皆様によりしくご鳳声の程、よろしくご伝声ください。近況報告のみにて失礼します。皆様の益々の御活躍、ご健勝を衷心より祈念してやみません。

千葉 浩次

ご案内いただきありがとうございます。残念ながら他の会合と重なり欠席させていただきました。28年4月に北見北斗高校から小樽潮陵高校に移動しております。稲門教育会の益々の御発展と会員各位のご健勝を記念申し上げます。

手塚 要助

花の平成3年退職組老会極まり外出困難、後続稲門生の健闘を外部よりうれしく思うこの頃です。盛会を祈念いたしております。

永田 政允

仕事(旅館業)を止め、後は悠々自適と思っていたのに豈図らんや、後期高齢者が果たすべき雑事に振り回される毎日です。認知症への対

策に迫われ、先の予想される時間に何かできるかと思うたび、無い髪をかきむしっています。

中塚 信義

あけましておめでとうございます。皆様にとって明るい一年となりますようお祈りいたします。新年会のご案内をいただきましたが、当日詩吟の会合があり出席できなくなりました。誠に残念です。(毎週水曜日が練習日となっております)ご盛会を心からお祈りいたします。

成田 智子

いつもご案内ありがとうございます。残念ですが、今回も行事が重なり欠席させて頂きます。皆様、毎日の勤務お忙しいことと思います。どうぞご自愛くださいますように。

野村 祥二

9月で白陵高校を退職しました。

橋本 真吾

競泳マスターズ大会に出場(11~3)登別、100m個人メドレーで30~35歳区分北海道新記録優勝、50mバタフライで同区分優勝、競泳北海道マスターズ大会出場(8~7野幌)50mバタフライ 30~35歳区分優勝、50m平泳ぎ同区分優勝

原山 勉(10代会長)

学校現場が明るくないと聞く。「教師は政治的な中立性を守ること」とお上からの声が年々強くなってきているらしいのだ。教師が自分の

生き方、信条を語ることに、生徒に押し付けることとは違うものなのに、「政治的中立」の名のもとに、物言わぬ教師にさせたがっているのだろうか。とても危うく感じる。流されてはならない。教師の心の底から出た言葉が、生徒の心をわしづかみにするのだから。

平泉 信吉

いつもご案内ありがとうございます。当日、不在にて(本州)欠席させて頂きます。ご盛会をお祈り致します。

平田 裕一

札幌創成高校で念願の担任を持って3年目になります。進路担当で今までの教員生活で最も忙しい1年となりました。あと少し頑張ります。

福川 和彦

高校の3年間で、どんな行事を催すのか、子どもたちがどんな体験をするのか、そしてどんな成長を遂げるのか、38ヶ月のスパンで垣間見る経験が持てました。新年度はその経験を行かしてがんばりたいと思います。

福田 誠行

北海道稲門教育会の益々の御発展を祈念しております。

前野 文繁

センター試験直前で、3年生の担任でもあるので、今回は出席できません（もう学校が始まっています・・・）自分のクラスから「稲門」が出ることを期待して、最後まで生徒を励ましているところです。

増田 雅彦

名寄産業高校で3年目になりました。名寄は台湾との交流が盛んで、昨年の11月に本校の酪農科学科の生徒を引率して、私にとつては三度目の台湾訪問となりました。

台湾の虎雄農工高校との交流が訪問の大きな目的になっているのですが、今回はお互いの高校が研究発表を行いました。本校からは、昨年10月の農業クラブ全国大会で優秀賞に輝いた有機農法によるメロン栽培の発表を行い、虎雄農工高校からは養豚の研究と水田に汎用性の高い製作ロボットの発表がありました。台湾の高校生の堂々とした発表に本校生徒は押され気味でしたが、お互いに学ぶことの多い交流となりました。私も虎雄農工高校の許校長先生とは、三度の出会いで固い友情が結ばれ、お互いの学校経営に切磋琢磨を誓い合いました。

増田 康広

小樽から留寿都に家族で越してきて2回目の冬を迎えています。

目の前に羊蹄山、少し離れてニセコ連峰を毎日眺めているうちに、学生時代以来止めていた山登りを20年ぶりに再開しました。

2016年は、ニセコアンヌプリ、イワオノプリ、羊蹄山、尻別岳を妻と息子と一緒に登りました。蘭越の昆布岳を台風のため断念したのは心残りです。冬休みは近くの軍人山と樫負山を家族で登るのを楽しみにしています。また大好きなカメラ（愛機はCanon Smark III）を片手に羊蹄山ろく自然を満喫しています。

松田 豊満

ご案内ありがとうございます。体調不良のため残念ながら欠席いたします。昨年大学卒業60周年のクラス会があり出席してきました。応援団・チアガールが参加してくれ、会を盛り上げてくれました。ご盛会を祈念しております。

森 修一（8代会長）

河合塾津田沼校で生徒管理の仕事を続けています。

森 浩之

残念ながら欠席させていただきます。道内唯一の体育科を設置する公立高校に赴任しました。北海道の保健体育教育の発展・充実と体育・スポーツの振興のため、日々、頑張っています。

吉澤 税

縁あって、4月より長万部高校に移動になりました。少しでも学校の力になれるよう、努力していきます。

吉澤 正伸

当日の都合がつかず出席できません。残念ですが、皆様によりしくお伝えください。現在、北翔大で保体科の教員養成の仕事をしています。意欲のある高校生を紹介してください。

吉能 康博

冬休みを利用して南半球へ外遊しています。稲門の一員として盛会を心より祈念いたします。

和角 一

幹事の先生ご苦勞様です。所業があり欠席いたします。私は平成5年3月、有朋高校を退職、即時道都大学教授として10年、平成15年から平成28年3月まで講師として勤務しました。23年間健康で過ごせたこと皆様からご支援、ご指導いただいた事に深く感謝いたします。次にお知らせとお願いですが、元稲門会会長室田浩志先生が心不全の為、去る6月3日に逝去されました。皆様でご冥福をお祈りいただければ幸いに存じます。諸先生のご健勝と会のご発展を祈念します。

久保田 宏明

本年7月卒寿を迎えました。なかなか北海道

まで出かけられません。皆様によりしくお伝えください。会の発展を祈念します。

中村 正道

事務局在職中に（全国）稲門教育会の職務上の事務局長を務めたことが皆様とのご縁の基礎になっております。2011年に教育学部から転出、さらに2014年に大学を定年退職した後も、毎年総会のご案内をくださることをたいへんありがたく思っております。12、17、東京にて開催された「岡元敦司リサイタル」に行った折、岡元賢先生にお目にかかりました。皆様とご縁が繋がっていることをうれしく思っております。総会がご盛会となりますよう、お祈りしております。

事務局より

*移動・退職の際には、事務局までご連絡ください。
い。

●ホームページをご利用ください。

<http://tomonkyoikukai.web.fc2.com/>

こちらのURLで早稲田情報の紹介、校友同士の情報交換等を行っていきたいと思いますので、是非ご利用ください。注意点がいくつかございます。

○ブログではありませんので、スクールネットを通して閲覧できますが、無料のホームページアカウントということもあり、

検索エンジンに引つかからないようです（理由はわかりません）。御手数ですが、右のアドレスを直接打ち込んで、ブックマーク登録をしてご利用ください。

○無料のホームページの制約として1メガバイト以上の写真や書類を貼り付けることができません。ものによっては不鮮明な場合もあるかと思いますが御容赦ください。

問い合わせ、ご要望、転勤による連絡先の変更等ありましたら、左のアドレスにメールあるいは白石高校の方にお電話いただければ幸いです。

i.akira43@gmail.com

追伸【事務局より】



両側の二人は白石高校の教え子で、今期コンサドレ昇格のために貢献した二人です。

昇格の最終戦でも出場し、大活躍をしてくれました。左側の選手は早大生でもあるので、二人ともよろしくお見知り置きのほどをお願いします。



札幌白石高校がモデル校になったコミック「青空エール」が映画化され夏に公開されました。